

競技注意事項

1. 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
2. 招集について（招集所は第2ゲート、1500mスタート地点スタンド下）
 - (1) 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、役員の誘導に従い競技場に入場する。投てき種目については現地招集とする。
 - (2) 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、チェックを受けること。

- (3) 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。
3. アスリートビブスについて
 - (1) アスリートビブスの番号は、2025年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
 - (2) 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。
4. 番組編成について（レーン順・試技順）
トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。
5. トラック競技について
 - (1) スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。
 - (2) 100m、200m、ハードル種目については、タイムレース予選を行う。
タイムレースの結果、上位8名を決勝進出者とする。なお、同記録（1/1000秒まで同じ）の場合は、次の通りとする。
 - (ア) 空きレーンがある場合は全員決勝に進出させる。
 - (イ) 空きレーンがない場合は、抽選とする。
 - (3) 1000m以上の種目については、オープンレーンによるスタートで行う。
また、OP3000mにおいて、1組20名を超える場合は、原則としてグループスタートを行う。

6. 競技場は全天候舗装である。競技用靴の靴底の厚さについては、シューズに関する競技規則を適用する。

7. **三段跳の踏切板は7m、10mとする。**

8. バーの上げ方は下表の通りとする。

走高跳	性別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
	男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	3cm
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	3cm	

※天候等特別な状況が生じた場合、跳躍審判長の判断で変更することもある。

9. 走幅跳、三段跳については、本競技場内でのフリー練習は実施せず、公式練習のみとする。練習が必要な選手は、AKAKIRI FIELD に設置された専用エリアで事前に練習を行う。

10. 競技運営上、下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	4m70	※ 上記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、満たない場合でも必ず1回目は計測を行う。
	女子	3m80	
砲丸投	男子	7m50	
	女子	7m00	
ジャベリックスロー	男子	30m00	
	女子	15m00	

11. 練習会場は、AKAKIRI FIELD、雨天練習場とする。ただし、投てき種目については、競技開始60分前から投てき場の砲丸ピット、円盤サークル、ジャベリックスローのピットで行うことができる。

12. 使用器具は、競技場備え付けのものを使用する。

13. 投てき種目の砲丸の重量は、男子が 5.0kg、女子が 2.72kg とする。円盤の重量は男子 1.5kg、女子 1.0kg とする。

14. オープン種目、U18を除く各種目3位までに賞状を授与する。

15. U16陸上競技大会参加資格について

(1) 日本陸連が定めるU16陸上大会参加標準記録に到達して参加申込を行い、日本陸連より正式参加者として認められた者（ターゲットナンバーが上限）。

(2) 大会要項の競技種目に示す※印のある種目については、各都道府県の代表1名が参加できる。選考は、本大会において該当する種目で優勝した選手の中から宮崎陸協強化部（中学校）が推薦する。